



【参観日・保護者集会・学校説明会への参加の御礼】

1 年生 1 9 8 名、2 年生 2 4 5 名、3 年生 2 1 8 名で始まった新学期、それぞれが新たな目標を立て学校生活に臨んでいます。4 月 1 5 日（月）の参観日には、たくさんの保護者の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。また、その後の学級・学年保護者集会や学校説明会にも多くの方に御参加いただきましたこと、大変嬉しく感じております。改めまして、一年間よろしくお願いいたします。

生徒の方は、各学級の委員がすぐに決まり、1 7 日（水）に認証書が渡されました。現在、前期委員会の活動について検討し、5 月 2 8 日の生徒総会に向け準備しています。また、各委員会のメンバーを学年の旅行的行事でも中心的な役割を担いますので、準備に励んでいるようです。

【教育相談日と三者懇談の違いについて】

陵北中学校には『教育相談日』と『三者懇談』があります。『教育相談日』は、担任が一人一人の生徒と話す機会となっていますので保護者の方は来校しません。学校や学級に慣れてきた 5 月と大きな行事を終えた 11 月に、学習や生活面での困りごとがないか個別に相談するものです。その中で他の教師と相談する必要性が出てきた場合には、教科担任やスクールカウンセラーとの相談も可能となっています。

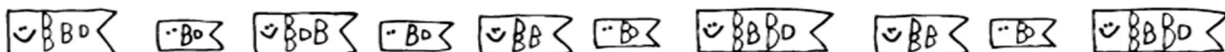
保護者の方に来校していただく『三者懇談』は 1 学期末（7 月）と 2 学期末（12 月）に実施します。学校生活や家庭生活についてのお話や進路相談を行います。その他に、2・3 学期には『学校公開日』という通常の授業風景を見て頂ける自由参観日や、次年度の旅行的行事についての説明等を行う学年保護者集会（1、2 年のみ）を 2 月末に予定しております。

また、保護者対象の進路説明会を、1、2 年生向けと 3 年生向けに分けて 2 学期に実施する予定です。それぞれ 1 か月位前にご案内しますので、よろしくお願いします。

今年度より年度末の通知表所見がありません。保護者の方々と直接お会いする機会を利用し、生徒のために必要な相談を積み重ねていきたいと考えておりますので、ご都合がつく際には、是非、学校に足をお運びいただければと思います。

【その他】

- ・学校への電話連絡、電話受付は基本的に平日 8：00～17：00 までとなっております。（※緊急の場合等はこの限りではありません。）また、休日は転送設定となるため、電話は繋がりません。万が一、緊急を要する御用件がありましたら、学校アドレス ryohoku-j@sapporo-c.ed.jp までお願い致します。
- ・学校だよりや行事予定等、ホームページからもご確認いただけます。



『さっぽろっ子「学び」のススメ』を配布しましたので、日々の生活を見直す機会としてください。
家庭と学校が一体となって子どもの「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくりを支えていきたいとの願いを込めて、このリーフレットが作られました。大切にしたい5つのポイントの頭文字をとって『まほうのかいわ』を合言葉にしています。3つの習慣のうち、特に学習習慣づくりに向けて、家庭でお子さんにどのように声をかけていくとよいのでしょうか？

ま「学んだことを一緒に振り返りましょう。」

お子さんが今、どんな学習やスポーツをしているのかについて、共有しましょう。「まほうのかいわ」は子どもの学びを「知る」ことからスタートです。中学校では自ら考え、表現できるようになるように指導しています。お子さんが今、各教科でどんな勉強をしているかを知り、ノートやプリントを見て、お子さんの考えや表現を把握し、ほめたり励ましたりしてください。



ほう「方法を一緒に考えましょう。」

今すぐにでもできそうなことを一緒に考えてみましょう。その中から実際にやってみることをお子さん自身が決められるよう支えましょう。中学校では、自分一人で行き渡ることが大切です。家庭学習の時間を決めて、その日学んだことの復習と明日学ぶことの予習を中心に基礎・基本の定着を目指して、毎日取り組むように声をかけてください。



の「伸びを認め、ほめましょう。」

お子さんが自分の目標に向かって自ら動き、がんばる姿から、プラスの変化を見つけ、言葉で表しましょう。小さな努力や成長に気付いていることを示してあげましょう。家庭学習を主体的にお子さんが進めるには学習意欲が大切です。自らの疑問や課題に取り組み、解けた時の達成感が意欲につながります。その時は、大いにほめてください。



かい「改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう。」

お子さんは、今、何に困っているのでしょうか。子どもの困りをとらえ、うまくいかない原因やどうしたらよいかを子どもの目線で一緒に考えることから始めましょう。中学校では、家庭学習に一人で行き渡ります。学習意欲を高め毎日継続するためにはお子さんの自己評価と保護者の方の評価が大切です。「振り返り」で評価内容をお子さんと話して改善を図ってください。



わ「わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう。」

失敗も悩みも子どもの成長には欠かせません。お子さんが自信をもてないときこそ、温かい励ましの言葉が「やってみよう！」という意欲や乗り越える力につながります。将来なりたい自分を目標に難しいことにも挑戦する強い心が育つようにお子さんと話してください。

